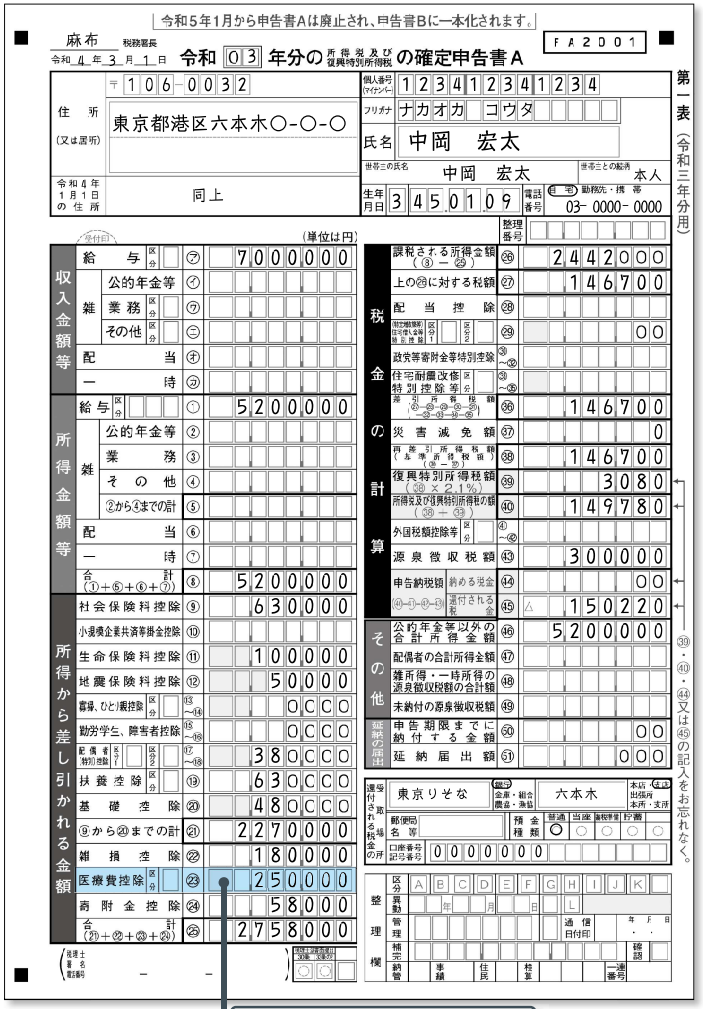
申告書A　第一表のポイント



「医療費控除の明細書」で計算した「医療費控除額」の金額を記入する

中岡宏太さんの場合（会社員・妻と子ども1人）

所得の種類

給与（支給総額）……700万円

所得控除

医療費控除……25万円
社会保険料控除……63万円
生命保険料控除……10万円
地震保険料控除……5万円
配偶者控除……38万円
扶養控除（特定扶養親族）……63万円
雑損控除……18万円
寄附金控除……5万8,000円

医療費控除の明細書

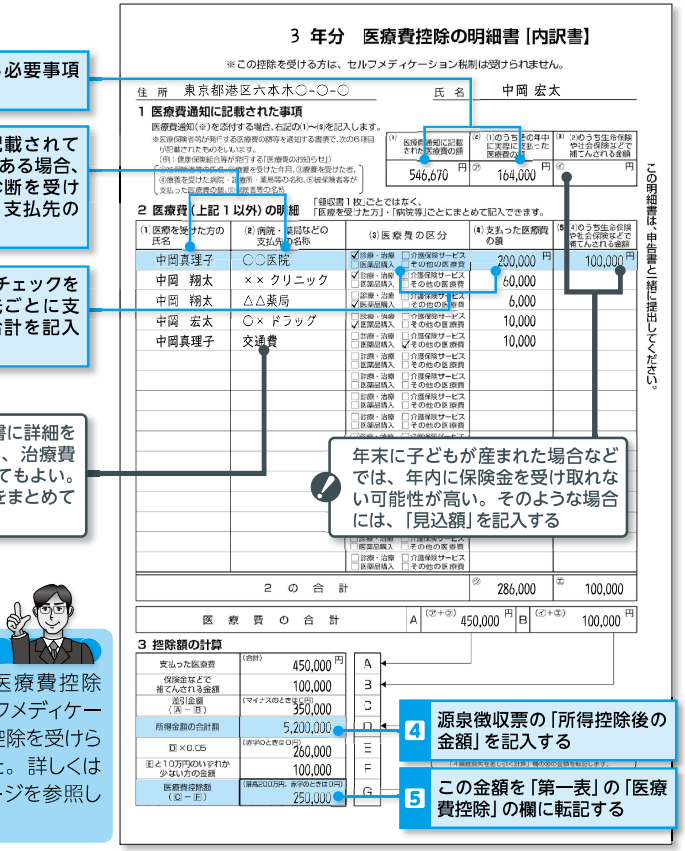
1 医療費通知から必要事項を転記する

2 医療費通知に記載されていない支払いがある場合、実際に治療や診断を受けた人の名前と、支払先の名称を記入する

3 医療費の区分にチェックを付け、支払い先ごとに支払った金額の合計を記入する

交通費は、領収書に詳細を記入してあるなら、治療費とまとめてしまってもよい。別に交通費だけをまとめて記入してもOK

年末に子どもが産まれた場合などでは、年内に保険金を受け取れない可能性が高い。そのような場合には、「見込額」を記入する



4 源泉徴収票の「所得控除後の金額」を記入する

5 この金額を「第一表」の「医療費控除」の欄に転記する

注意！

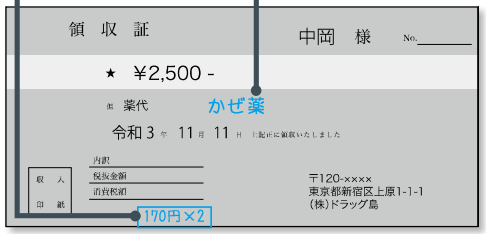
平成29年から、医療費控除の特例として「セルフメディケーション税制」による控除を受けられるようになりました。詳しくは153ページと175ページを参照してください。

医療費の領収書の整理方法（例）

領収書の余白に、そのときにかかった交通費の詳細を記入しておく

品名が明記されていない場合には、きちんと品名を記入しておく

領収書に交通費を記載しない場合は、エクセルなどの表計算ソフトを使って一覧表を作成し、それを証拠書類として医療費の領収書とともに保管する



ポイント&キーワード
・医療費控除